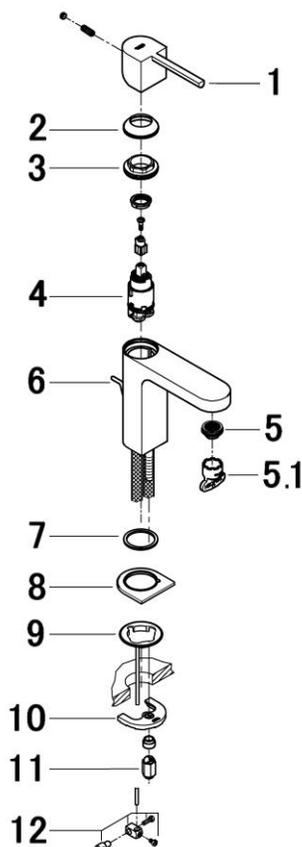


## GROHE PLUS 洗面混合栓施工説明書 (お客様にお渡しください)

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。

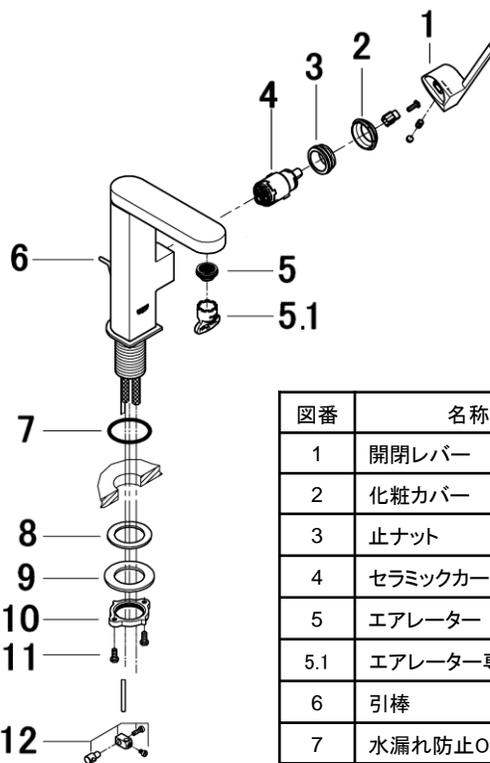
### 各部名称

#### 上部レバータイプ(Sサイズ)



図番	名称
1	開閉レバー
2	化粧カバー
3	止ナット
4	セラミックカートリッジ
5	エアレーター
5.1	エアレーター専用工具
6	引棒
7	スポンジパッキン
8	化粧プレート
9	ガイドパッキン
10	馬蹄金具
11	スライドナット
12	ジョイントピース

#### サイドレバータイプ(M・XLサイズ)



図番	名称
1	開閉レバー
2	化粧カバー
3	止ナット
4	セラミックカートリッジ
5	エアレーター
5.1	エアレーター専用工具
6	引棒
7	水漏れ防止リング
8	ゴムパッキン
9	ワッシャー
10	締付ナット
11	固定ねじ
12	ジョイントピース

- ※ 必ず施工前に欠品やキズの有無をご確認ください。
- ※ 欠品やキズがあった場合は遅滞なく購入先へ連絡をお願いします。
- ※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。
- ※ 寒冷地仕様の接続アダプターには、逆止弁がありません。
- ※ エアレーター専用工具は施工後、お客様にお渡しください。

## 安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。  
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### ⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー・ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

## 使用条件

### ●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.05MPa[0.5kgf/cm<sup>2</sup>](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm<sup>2</sup>](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

◇ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合わせる場合

最低必要圧力A+0.07MPa[0.7kgf/cm<sup>2</sup>](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm<sup>2</sup>](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されております。

レバー・ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度40℃)によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度(60℃)設定です。温度設定は60℃以上で使用しないでください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm<sup>2</sup>]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

## 据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。

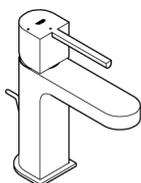
●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●逆止弁(接続)アダプターの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

# 据付手順

## 上部レバータイプ(Sサイズ)



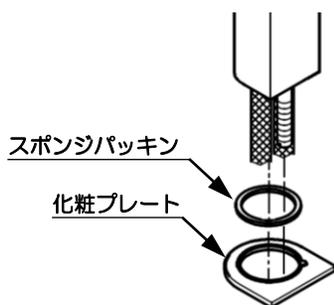
### 注意

- ・引棒タイプを設置の場合は、据付前に本体へ引棒を挿し込んでください。
- ・設置前にカウンター上部の汚れを拭き取ってください。
- ・本体の吐水口側が正面に向くように取付けます。

## 1. 本体の準備

### 1. 【スポンジパッキンの取付け】

水栓本体と化粧プレート間にスポンジパッキンを取付けます。



### 注意

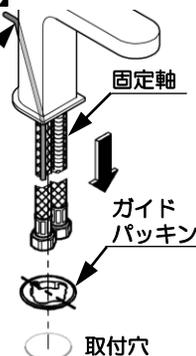
スポンジパッキンがズレると漏水の原因になります。ご注意ください。

### 2. 【ガイドパッキンの取付け・本体設置】

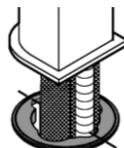
- ①ガイドパッキンを本体に取付けます。
- ②本体をカウンター上部の取付穴から挿入します。

### 注意

スポンジパッキン、化粧プレートがずれないようご注意ください。



### ポイント



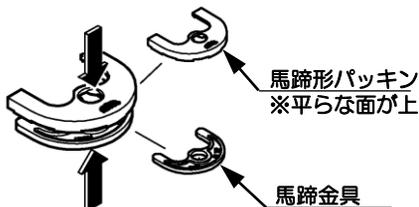
ガイドパッキンの溝にホースと固定軸と引棒を合わせる

- ・ガイドパッキンは、平らな面を本体側に取付けます。
- ・ガイドパッキンの溝が、引棒・給水給湯ホース・固定軸に合うよう取付けます。

## 2. 本体の固定

### 1. 【馬蹄金具の取付け】

- ①馬蹄金具に馬蹄形パッキンがしっかりとはめこまれていることを確認します。



- ②馬蹄金具をカウンター下から固定軸に取付けます。

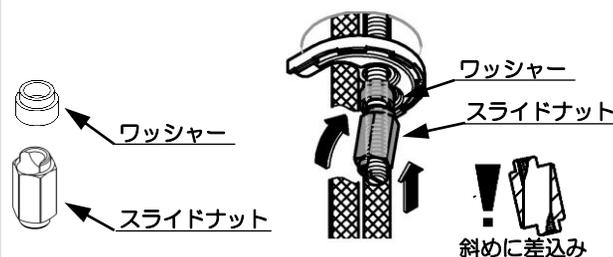


### 注意

必ず馬蹄形パッキンがカウンター側、馬蹄金具が下側になるよう取付けてください。

### 2. 【スライドナットの締付け】

- ①ワッシャーを固定軸に取付け、スライドナットを斜めに傾けながら差し込みます



- ②スライドナットを固定軸に合うよう真っ直ぐ起こし右回しにねじ込みます。

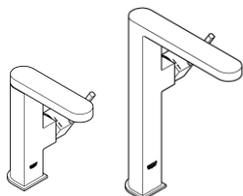


### 注意

締付後、本体に浮き、グラつきがないことを確認して下さい。

# 据付手順

## サイドレバータイプ(M・XLサイズ)



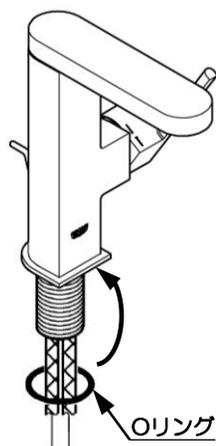
### 注意

- ・引棒タイプを設置の場合は、据付前に本体へ引棒を挿し込んでください。
- ・設置前にカウンター上部の汚れを拭き取ってください。
- ・本体の吐水口側が正面に向くように取付けます。

## 1. 本体の準備

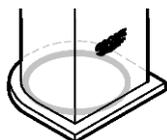
### 1. 【水漏れ防止リングの取付け】

Oリングを給水・給湯ホース側から本体に取付けます。



### 注意

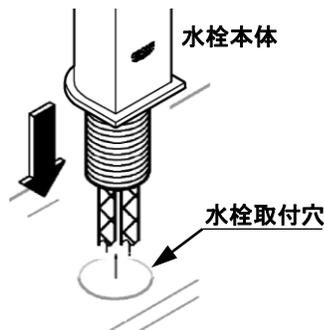
水漏れ防止リングがズレると漏水の原因になります。ご注意ください。



化粧プレート裏面の溝にOリングを合わせる

### 2. 【本体設置】

本体をカウンター上部の取付穴から挿入します。

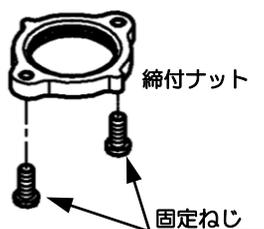


### 注意

- ※取付穴が本体の中心になるように注意してください。
- ※施工中、本体を倒さないでください。
- 洗面ボールなどが破損してケガをする恐れがあります。
- ※水漏れ防止用パッキンが取付穴の外周に収まっていることを確認して下さい。漏水の原因になります。

## 2. 本体の固定

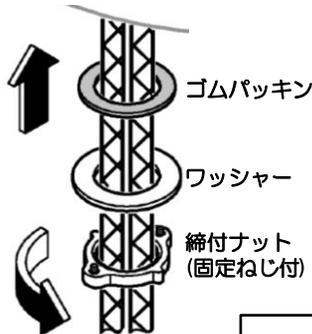
### 1. 締付ナットに固定ねじを取付けます。



### 注意

固定ねじは必ず使用してください。

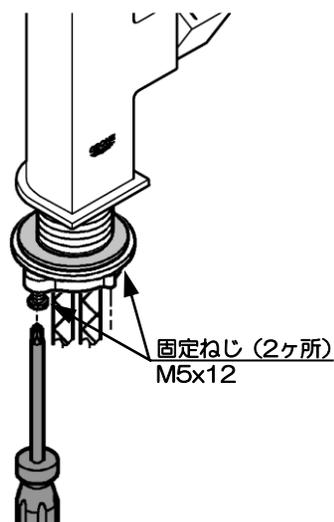
### 2. カウンター下からゴムパッキンとワッシャーをホースに挿入し締付ナットを締めつけていきます。



### 注意

締付ナットは手でしっかりと締めつけて下さい。

### 3. 締付ナットの固定ねじ(M5x12)を交互に最後まで締付けます。



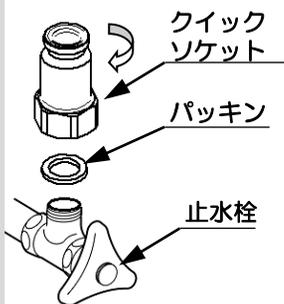
### 注意

- ※固定ねじは必ず少しずつ交互に締めつけてください。
- 片寄った締付になると固定強度が不十分となるおそれがあります。
- ※水栓本体が確実に固定されていることを確認して下さい。

# 施工手順

## クイックソケットの接続

1. 逆止弁アダプターを止水栓に固定します。



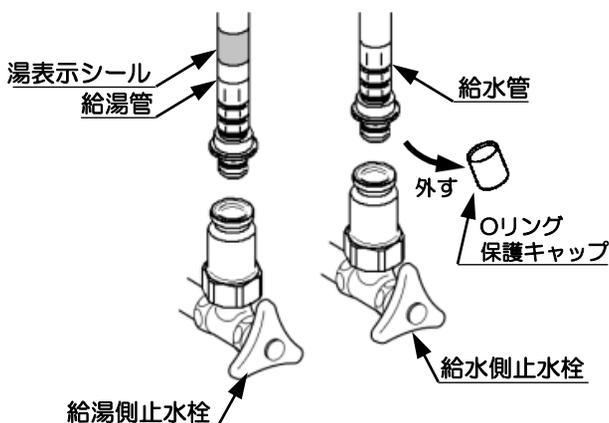
### 注意

寒冷地用は部品が異なります。

### 注意

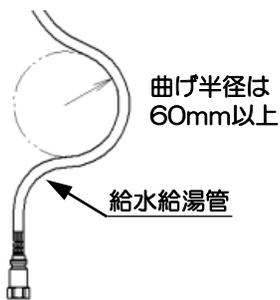
締付は200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

2. 給水・給湯管を接続アダプターに差し込みます。



### 注意

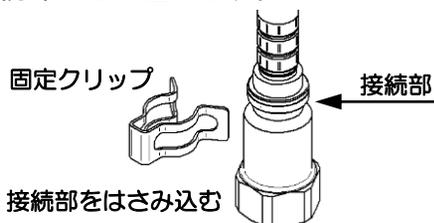
給水・給湯管を曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。※漏水の原因となります。



### 注意

- ・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
  - ・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
  - ・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。
- ※漏水の原因になります。

3. 固定クリップを給水／給湯管とクイックソケットの接続部にはめ込みます。



接続部をはさみ込む

### 注意

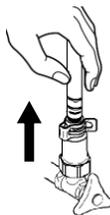


固定クリップでケガをしないようご注意ください。

### 注意

給水・給湯管の不要な接触は避けてください。※摩擦によりホースが劣化する恐れがあります。

### 注意

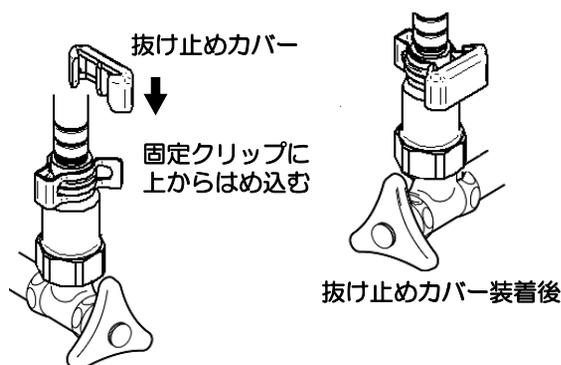


確実に接続されていることを確認してください。給水・給湯管を上を引き、ソケットから外れないことを確認してください。

### 注意

固定クリップはゆるまないう、しっかりとめ込んでください。※漏水の原因になります。

4. 抜け止めカバーを固定クリップにはめ込みます。



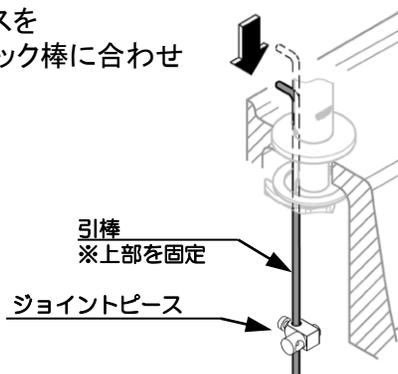
### お願い

配管が設置されておらず、接続アダプターが接続できない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継いでいただき、配管への接続をお願いいたします。

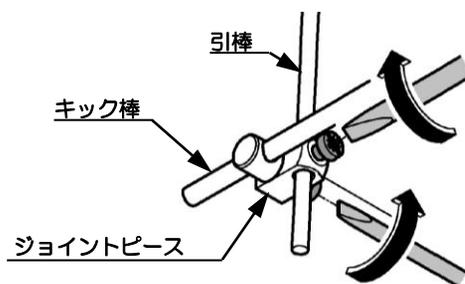
# 給水・給湯ホースの接続

## 引棒の取付け

1. ジョイントピースを排水金具のキック棒に合わせ仮止めします。

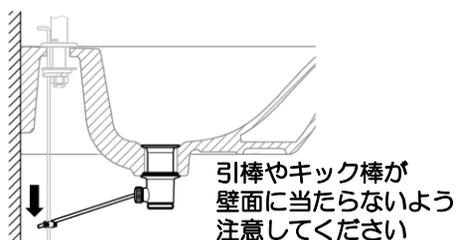


2. 排水金具のキック棒にジョイントピースを差し込み固定ビスで締付けます。



### 注意

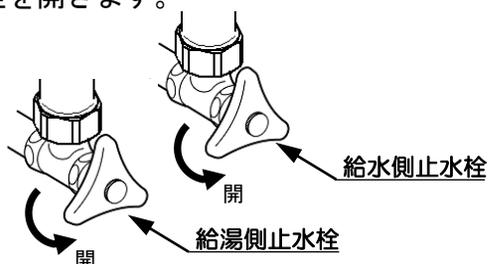
- ・接続ホース、締付セット、壁面に引棒およびキック棒が接触しないことを確認して下さい。
- ※家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・引棒およびキックレバーは曲げずに接続するようにしてください。
- ※引棒を曲げて接続すると、操作が重くなります。
- ・固定ビスはゆるまないよう、確実に固定してください。



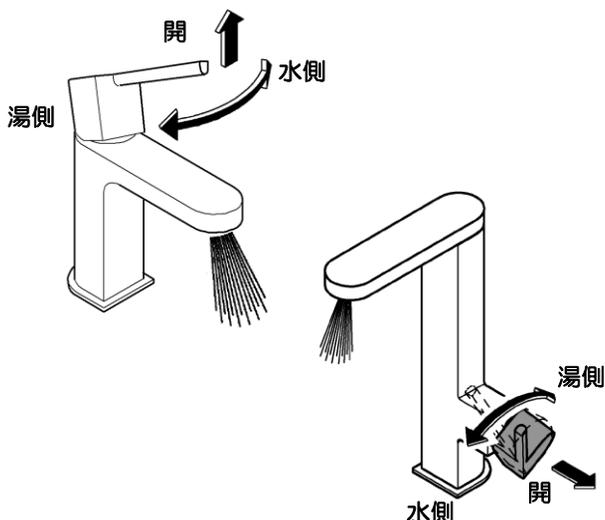
## 取付後の確認

### 1. 通水確認

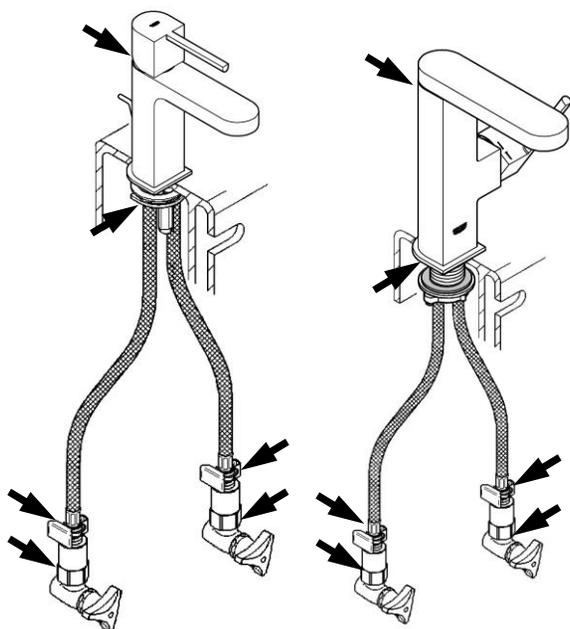
1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水確認します。



3. レバーハンドルを閉じ、接続部からの漏水がないか確認します。



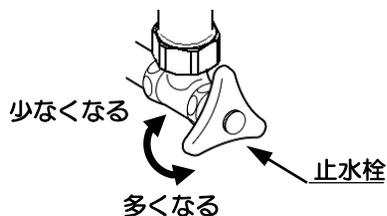
### 注意

- ※万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。
- ※Oリングの切れ等が漏水の原因となります。

# 取付後の確認

## 流量調整

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

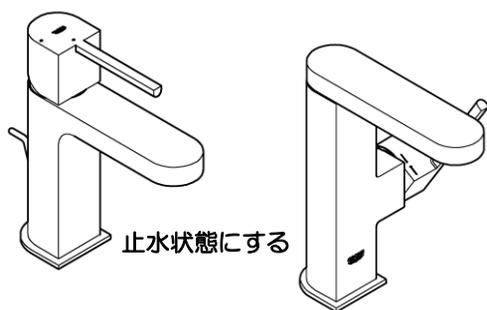


### 注意

レバーハンドルを全開にしたときシャワーの流量が湯と水でそれぞれ約8L/min(※)を超える場合は、止水栓で流量調節をして下さい。  
(※1リットルの容器をいっぱいにするのに約9秒)

## 3. エアレーターの清掃

1. レバーハンドルを止水状態にします。



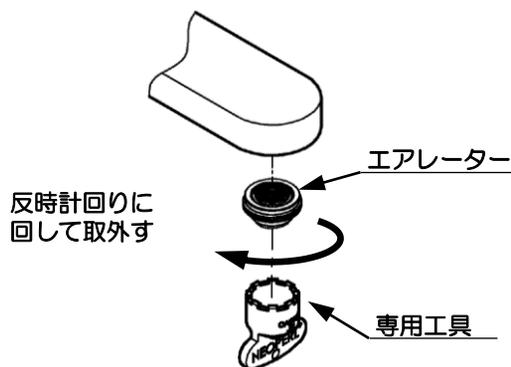
2. エアレーターのゴミを取り除きます。



### 注意

- ・清掃後は、専用工具を使用して、確実にエアレーターを取付けてください。
- ・専用工具は施工後、お客様にお渡しください。

2. 専用工具を使用し、エアレーターを反時計回りに回して取外してください。

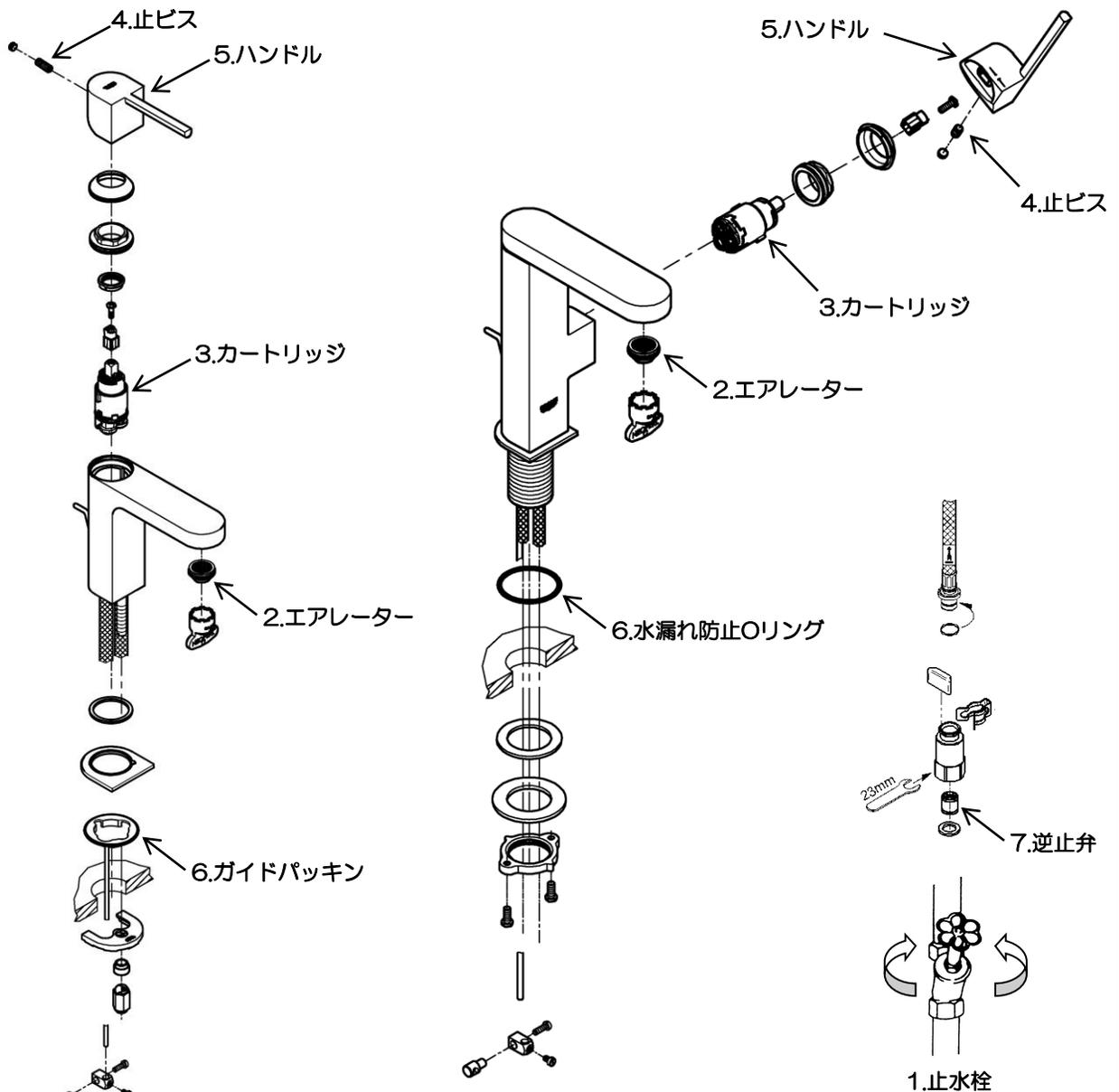


### ポイント

設置直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

# 故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	確認ポイント
吐水量が少ない	1	全開されていますか？圧力は十分ですか？
	2	ゴミ詰まりはありませんか？
	7	破損・ゴミかみはありませんか？
水が止まらない	3	破損・ゴミかみはありませんか？
温度不良	1	全開されていますか？圧力は十分ですか？
	3	破損・ゴミかみはありませんか？
	7	破損・ゴミかみはありませんか？
ハンドルがガタつく	4	正しく取付けられていますか？
	5	
カウンター内の漏水	6	正しく取付けられていますか？

## グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>